

主な活動実績写真1. H23年度事業日時一覧6. 11月20日(日) 森林保全活動

日時	参加者	天候	活動内容
11・20(日) 8:30~ 11:30	ふれあい会7人 森林管理組合員28人(内ふれあい会員)	晴	雑木除伐採活動

作業開会式 天山森林管理組合田中俊一実行委員長・天山ふれあい会会長のあいさつ、準備運動ストレッチ体操、作業上の注意①安全第1、②単独作業はしないなど・・・



●エンジンチェーンソー1台を中心に数人がチームを組み除伐採作業をした。作業時間は30分、10分休憩の4回です。



主な活動実績写真2. H23年度事業日時一覧8. 12月8日(日) 環境教育

日時	参加者	天候	活動内容
12・8(木)	児童5年生41人+講師5人+九環4人	雨	5年生対象環境教育

1. パソコン教室において、児童用パソコン画面に宮路岳の樹木・草花の写真を出して、溝口さんに説明をしていただきました。①熱心に画面を見ている5年生 ②児童用のパソコン画面で補助説明をされる森林インストラクターさん、



●樹木の見分け方・広葉樹、針葉樹に見分け方・葉っぱの付き方：小湊さん

●鳥の話 廣さん

●ピジョンミルクの話・・・佐藤さん



●森林についてのまとめの学習・・・木村さん

●班別に森の働きを模造紙に描いて発表するワークショップ



主な活動実績写真 3-1. H23年度事業日時一覧 7.

11月20日(日) 生物モニタリング活動

7	11・20(日) 8:30~11:30	8人	晴	生物モニタリング活動	森林インストラクター会5人(有償)、日本野鳥の会の方、九州環境管理組合の職員方々3人(無償)で、植物・鳥の観察
---	------------------------	----	---	------------	---

平成20年から22年まで雑木除伐採したヒノキ林は、日の光が地面に届き、シダが青々と茂り、ランが見られるようになりました。雑木の種も芽を出しています。私たちの雑木除伐採が森を再生させていることを実感しました。私たちが庭に植えている万両、千両と同じような名前で、百両、十両を見つけてもらいました。 藤棚の土どめの横木にはカワラ茸(キノコ)が生えています。



和名：さねかずら、
別名：美男葛(びなかずら)
ビナンカズラとは、昔武士などが整髪用に用いたもので、「美男葛(びなんかずら)」で、これを用いると、「美男」になるという意味から呼ばれました。

平成20年から22年まで雑木除伐採したヒノキ林は、日の光が地面に届き、シダが青々と茂り、ランが見られるようになりました。雑木の種も芽を出しています。私たちの雑木除伐採が森を再生させていることを実感しました。私たちが庭に植えている万両、千両と同じような名前で、百両、十両を見つけてもらいました。 藤棚の土どめの横木にはカワラ茸(キノコ)が生えています。



和名：カワラタケ：カワラタケは、今から二〇数年前にそのエキスからクレスチンという制ガン物質が見つかったことでガ然注目を浴びました。食道ガン、乳ガン、胃ガン、そして悪性リンパ腫などに特によく効くことが確かめられています

主な活動実績写真 3-2. H23年度事業日時一覧 12.

2月10日(金) 生物モニタリング活動1 植物について調査報告

日時	参加者	天候	活動内容
2・10(金) 8:30~ 13:00	講師3人 参加者3人	晴	生物モニタリング活動

◆ 2月10日(金) 環境指標の森生物モニタリング調査 植物について調査 溝口 澄子
観察コース 高木神社~童男男女岩~尾根道~筑前町二方面

登山口の高木神社周辺では、ヤブツバキの花が咲き、フユイチゴの実が群生してたくさんなっていました。境内の樹木は、イヌマキ、クスノキ、クロガネモチ、等の大木の他に蕾をいっぱいにつけたウメ、プロペラのような実をまだしっかりつけているイロハカエデや、実生で生えて育ちはじめたキリの幼木もあります。

檀徒池周辺では、ビナンカズラの実がいよいよ黒ずんでぶらさがっています。アオナラガシワも大きな落ち葉が足元にたくさん散っています。土砂が流れ込んだ池は、イグサが勢力を広げ、アブラガヤやカヤツリグサの立ち枯れた茎が多数見られます。ノイバラもかなりの勢力で育っているようです。

森の中は手入れされて明るくなっており、コシアブラの幼木などが育ちはじめています。草本類の少ない森でしたがチドメグサの仲間などが広がり、花をつけたツワブキも一株ありました。これから増えていくだろうと楽しみです。シダ類が多数生育しており林床が緑色になっています。檀徒池から童男男女岩までの間で確認したシダは、ベニシダ、フモトシダ、ミゾシダ、オオイタチシダ、オニカナワラビ、キジノオシダ、オオキジノオ、ミヤマノコギリシダ、イヌワラビ、ヘラシダ、イワガネソウ、イノデ、ウラジロ、ナガバノイタチシダ、ノコギリシダ、オオカグマ、コヨスミヒメワラビ、コシダ。

秋には、天山側の斜面全体がコナラなどの紅葉に染まる宮地岳ですが、照葉樹も点在しています。タブノキ、クスノキ、シロダモ、ユズリハ、クロキ、ヒサカキ、アラカシ、シリブカガシ、カクレミノ、ヤマモガシ、ソヨゴ、クロバイ、ジャシヤンボ、ムベ、その他植栽されたスギ、ヒノキもわずかに混じっています。

落葉樹は、コナラ、イヌシデ、ハゼノキ、コシアブラ、アオハダ、カラスザンショウ、ウリハダカエデ、ヤマザクラ、ネジキ、エゴノキ、ヤマボウシ、イヌビワ、ヌルデ、ゴンズイ、アカメガシワ、サルトリイバラ、などを確認しました。冬の落葉樹は、遠目にみるとなかなか分かりにくく、5・6月頃もう一度調べてみる必要があります。

童男男女岩から上の山道および尾根道は乾燥して、草本類は見当たりません。わずかにシュンランが2・3株あってジャノヒゲ、スゲの仲間がすこしあったけでした。反射板あたりは人手が入って(電波の通りがいいように山を削った場所)開けているのでワラビやススキがあります。

冬場は、花も実もなく、観察にはちょっと淋しい時期ですが、すっかり葉を落とした樹木の樹形や落葉痕、春に向けて準備している冬芽などを見ながら歩くと、明るい落葉樹の森は見通しが良く、植物以外のいきものや、自然のおもしろい造型にも出会えて楽しむことができます。50年以上も生きているコナラやイヌシデの大木が多い宮地岳は春の新緑、秋の紅葉などを、この地に住んでいる私たちのふる里の風景としていつまでも残しておきたいものです。



日時	参加者	天候	活動内容
2・10(金) 8:30~ 13:00	講師3人 参加者3人	晴	生物モニタリング活動

◆2月10日(金) 環境指標の森生物モニタリング調査 動物 渡部 登(筑紫野市)

天山公民館に7:50到着。公民館前の水路にハクセキレイのつがいが入り出りしていた。

全員がそろい、8:40に公民館を出発した。すぐに芋が谷池前の八尋家の畑地のあぜ道付近でコウベモグラの坑道とモグラ塚を数多く発見した。また、ネズミが掘った穴の入り口(坑道の出口)が見られたが、これらの巣穴はハツカネズミの住み家の入り口ではないかと思われる。幾つかの枯れたススキの株を探したが、カヤネズミの球巣は発見できなかった。

童男かん女岩のところまでの山道の両側に多数の巣穴が散見され、アカネズミ、ハツカネズミの住み家の入り口ではないかと思われる。罾による捕獲調査を経なければ何ともいえないが、この山林には他にヒミズ、ジネズミも生息していると思われる。

また途中の山道にテンの糞と思われるものがかなり多く見ることができた。

巣穴と上壁がはがれた坑道



童男かん女岩から、のろし台、山城跡を經由して山頂まで行く道を歩く途中にタヌキの麝香臭がし九電鉄塔付近に近づくと2箇所タヌキの糞塊が見つかった。ニタ山山頂付近にもう1箇所にもタヌキの糞塊が見つかった。3つめの糞塊は複数の家族が定常的に使っているものと思われ、古いものから新しいものまで見ることができた。この地域ではタヌキの個体群密度はかなり高いものと思われる。



他にイタチ(ホンDOIタチ)のものと思われる糞も見られた。

九電鉄塔付近ではイノシシが土壌を掘り起こしたあと(土耕跡)が見られ、逆ハの字型に開いたイノシシの足跡と思われる足跡も認められた。

ニタ山山頂を通過して筑前町(旧夜須町)の地域を通過して山道を下った。この後、筑前町と筑紫野市の境界を通る池に行きカルガモやオナガガモなどが水面に浮かんでいた。冬季の調査で両生類とは虫類は冬眠中で確認できなかった。

ホシハジロ ♂



カルガモ ♂



日時	参加者	天候	活動内容
2・10(金) 8:30~	講師3人 参加者3人	晴	生物モニタリング活動

◆2月10日(金) 環境指標の森生物モニタリング調査 宮地岳/野鳥生息調査の記録

野鳥生息調査担当：山本 勝

調査時間：8:15~12:40

調査コース：天山公民館—芋が谷池—高木神社北側鉄塔—高木神社—檀徒池—童男艸女岩—259m分岐(蘆城城跡)—反射板—ニタ山頂—峰古野池—天山公民館

野鳥確認種：アオサギ、マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、トビ、チョウゲンボウ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ソウシチョウ、カワラバト (合計31種)

特記事項：

1. 天山集落上空をチョウゲンボウ(ハヤブサの仲間・冬鳥)が1羽、周回していました。(この種は筑紫野市環境調査で、宮地岳初記録です。)

2. 芋が谷池では、カルガモ 2、ハクセキレイ 1、が見られました。

この池は、これまでに絶滅危惧種のオシドリ、トモエガモ(カモの仲間・冬鳥)やミサゴ(タカの仲間・留鳥)が確認されているので要注意です。

3. 宮地岳南部山麓の天山集落付近は、小禽類の声がよく聞かれました。キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ類、スズメ、それにカラスの仲間のカササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラスなどです。今の季節はほとんどが地鳴きですが、ヤマガラは囀り(ゆったりとしたテンポで「ピーツツ ピーツツ」を繰り返していました。

4. 檀徒池周辺では、ミヤマホオジロ(ホオジロの仲間・冬鳥)13+、ルリビタキ(ツグミの仲間・冬鳥)♂1 が確認されました。(この2種は筑紫野市環境調査で、宮地岳初記録です。)

5. 筑前町二の峰古野池では、マガモ 6、カルガモ 11+、ヒドリガモ 7+、オナガガモ ♂1(この種は筑紫野市環境調査で、宮地岳初記録です。)、ホシハジロ 12+ が確認されました。

(カモ類はカルガモは留鳥ですが、それ以外のカモはすべて冬鳥です)

今年の冬は、メジロやヒヨドリ、ツグミの仲間などが異様に少ないということをよくお聞きします。

今回の調査でも山麓部で声はよく聞かれましたので、他の地区よりは状態がよいと思われるのですが、それでも声からの個体数確認ではかなり少ないようです。

キジバト 3+、コゲラ 3+、ヒヨドリ 13+、シロハラ 9、ツグミ 1、ウグイス 2、ヤマガラ 4+、シジュウカラ 3+、ホオジロ 2、アオジ 1などとなっています。

ミヤマホオジロ ♂・冬鳥

オナガガモ ♂ 冬鳥



チョウゲンボウ
ハヤブサの仲間・冬鳥



ルリビタキ ♂
きれいな瑠璃色



主な活動実績写真4-1. H23年度事業日時一覧13①.

2月12日(日) 地域環境整備1 多目的広場堤土手に桜を植樹

日時	参加者	天候	活動内容
2・12(日) 8:30~ 11:30	天山ふれあい会12人 まちづくり委員会委員7人	晴	桜10本植樹 つつじ10本植樹

●この日は、快晴で温かく作業は気持ちよきはかどりました。



●各人の持ち味を生かして、作業されましたので、移植作業はスムーズに終了しました。休憩中に、天山が、県に要望している交差点改良とバス駐車場の件で、ちょうど平井県議が現地を見に来られましたのであいさつを受けました。



主な活動実績写真4-2. H23年度事業日時一覧13②.

2月12日(日) 地域環境整備2 檀徒池上から童男卯女岩に至る山道にアジサイ植樹

日時	参加者	天候	活動内容
2・12(日) 12:00~ 13:30	天山ふれあい会9人	晴	アジサイ16本植樹

●多目的広場土手に桜を移植した後に、天山ふれあい会9人で、童男卯女岩を訪れる登山者に楽しんでもらいたいと思い、檀徒池の山道に「ガクアジサイ」を移植



直方市福知山山ろくの散策路のアジサイ

●ゆくゆくは、直方市福智山ろく花公園の林間散策路のように、アジサイ散策路が出来上がれば、うれしいですね！！

皆さんの手持ちのアジサイを持ってきていただいて、挿し木なり、株分けなりして増やして楽しい散策路にしたいですね。

主な活動実績写真5. H23年度事業実績日時一覧1. 8月27日(土) 道案内版補修作業

事業実施日	参加人数	天候	事業概要	備考
8・27(土)	6人	晴	道案内版補修作業	

この日は朝8時半から、村組道入口案内版はトラックか何かでひっかけられて、支柱が折られていたので仮補修をしていましたが、この日本格的に補修しました。村組内の鬼木宅の石垣前の道案内版も支柱が折れていたので補修しました。この日の参加者は6人でした。なお、支柱には鬼木正春氏から単管(鉄パイプ)を寄贈してもらいました。有難うございました。

●村口入口の道案内版補修



もとは、道端のガードレール外に立てていましたが、今度は、排水路と田に水を入れる用水路の間に移設しました。単管を打ち込む大坪さん！コンクリートを流し込んで、倒れないように補強しました。



●村組内の鬼木宅の石垣前の道案内版補修



道路の縁石部分ですから、コンクリートやアスファルトで穴を掘るのに苦労しました。頑張る溝口さん、新田さん、井上知義さん

八月二十七日は朝からカンカン照りで、水分を補給しながらの、大変な作業でした。

二時間ぐらいで終わるつもりが十二時半までかかりました。